

# 令和元年度（2019年度）奨学事業に関する実態調査回答要領（団体用）

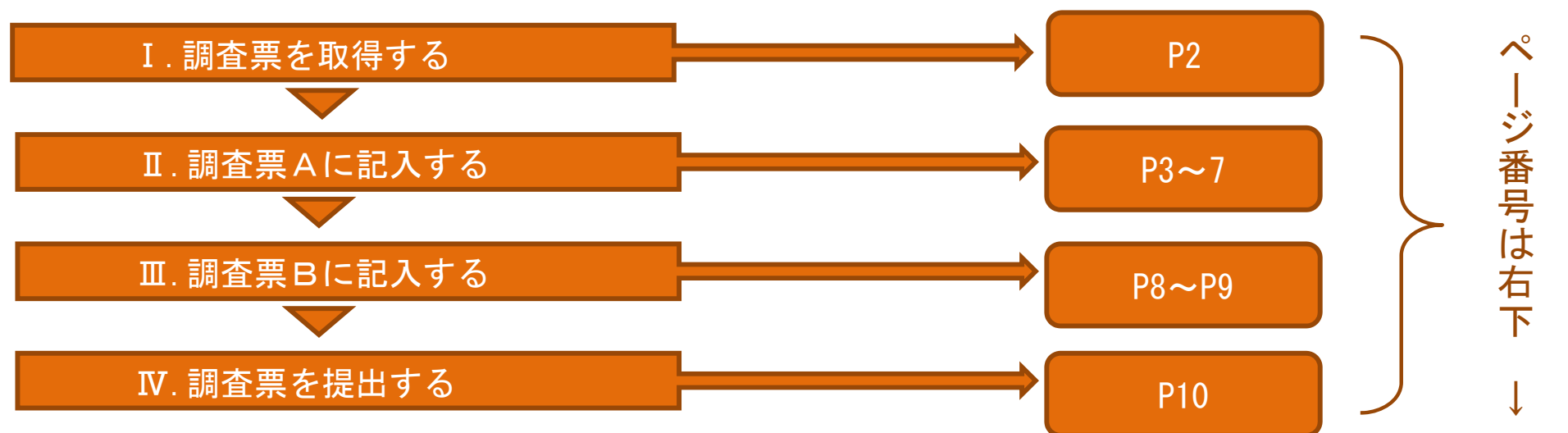
本調査は、日本国内の奨学金事業の規模、実施状況を把握するため、文部科学省が実施していた調査を、平成16年度より日本学生支援機構が引き継いで実施しているものです。

回答いただいた内容は、集計し結果を本機構ホームページに掲載いたします。個々の団体、制度の内容や実績を判断するためのものではありません。また、調査研究のため、研究機関等に調査データを提供する場合がありますが、個々の団体名、制度の内容が公表されることはありません。

奨学金事業の実態の正確な把握のため、ご協力いただきますようお願いいたします。

※ 令和元年度（2019年度）に実施した奨学金事業がない場合も、お手数ですが、調査票Aの1.～3.に記入の上、提出をお願いいたします。

## 目次



# I. 調査票を取得する

本機構ホームページから調査票をダウンロードしてください。

調査票（エクセルファイル）を開くと、調査票は2シート（調査票Aと調査票B）に分かれています。

### 調査票A A

1. 団体情報

団体ID					
...		...			
...		...			
...		...			

2. 奨学金制度の実施の有無

答	
---	--

3. 返還支援制度の実施の有無

答	
---	--

4. 奨学金制度の令和元年度実績

No	制度の名称								
1									
2									
3									
4									
5									
6									

調査票Aは全ての団体に記入をお願いいたします。

<内容>

- 貴団体の基本情報
- 奨学金制度の実施の有無
- 奨学金の返還支援制度の実施の有無  
⇒ あれば調査票Bに記入
- 奨学金制度の令和元年度実績  
(ある場合のみ)

調査票Bは  
令和元年度に奨学金を返還している人を支援する制度を実施した場合に記入してください。

<内容>

- 奨学金の返還支援制度の令和元年度実績

### 調査票B B

団体ID					
...		...			
...		...			
...		...			

奨学金の返還支援制度の令和元年度実績

No	制度の名称								
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									

## Ⅱ. 調査票Aに記入する

### 調査票A

1. ~3. は、全ての団体に記入と提出をお願いいたします。  
記入していただいた内容は調査に関する確認・照会と、調査結果集計の際の分類にのみ  
使用します。個別に公開することはありませんので、ご協力をお願いいたします。

#### 1. 団体情報を記入してください。【必須】

団体ID (5桁)	①	12345
団体所在地	②	東京都
団体種別	③	市区町村
団体名 ※冠称と分けて記入して ださい。	冠称	
	名称	〇〇市

⑤ 郵便番号	111-1111
住所	東京都〇〇〇〇〇5-5
電話番号	03-9999-9999
ホームページ	<a href="https://*****">https://*****</a>
部署名	支援課
回答者氏名	〇〇 〇〇

#### ① 団体ID

通知文に記載した5桁の数字です。  
提出状況の確認に使用しますので、  
必ず記入をお願いします。

#### ② 団体所在地

貴団体の所在地（都道府県名）を  
プルダウンから選択してください。

#### ③ 団体種別

団体の種類をプルダウンから選択してください。

#### ④ 団体名

冠称（公益財団法人など）と団体名称を分けて記入してください。  
公益財団法人→冠称  
〇〇〇〇会 →名称

#### ⑤ 連絡先・回答者

提出いただいた内容を確認させていただく際に使用します。  
連絡先住所、電話番号、ホームページアドレス、部署名、  
回答者氏名を記入してください。

※ 地方公共団体等が財団法人等を設立して奨学金事業を行っている場合は、別団体として別票にてご回答ください。

## Ⅱ. 調査票Aに記入する

### 2. 令和元年度（2019年4月～2020年3月）に実施した奨学金制度がありましたか。【必須】

答	(1) あった
---	---------

プルダウンから回答を選択してください。

- (1) あった  
⇒ 4. に制度の内容を記入してください。  
( P5～P7参照。 )
- (2) なかった  
⇒ 4. の記入は不要です。  
1. ～3. を記入後、  
4. は空欄のまま提出してください。

日本国内の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校、高等学校、各種学校に通う学生・生徒を対象とした奨学金制度です。

次の制度は含みません。

- × 授業料等（授業料・検定料・入学金・教材費などの修学のために必要な費用）を減額または免除する制度
- × 外国人留学生のみを対象とした制度
- × 日本人学生を対象とした海外留学のための制度
- × 新聞奨学金など学生が労働の対価として受け取る制度

また、中学校以下を対象としたもの、教育ローン、厚生労働省所管の制度、生活支援などの福祉分野の制度は対象外です。

### 3. 令和元年度（2019年4月～2020年3月）に実施した奨学金の返還支援制度がありましたか。【必須】

答	(1) あった
---	---------

プルダウンから回答を選択してください。

- (1) あった  
⇒ その団体の情報を提供していただける場合は、  
調査票Bに団体情報を記入してください。  
( P8～P9参照。 )
- (2) なかった  
⇒ 調査票Bの記入は不要です。

返還支援制度とは、各種団体等から貸与を受けた奨学金の返還をしている方を対象に返還金の一部又は全部を支援する制度です。なお、貴団体が貸与した奨学金の返還免除は含みません。

※ この調査は、令和元年度中（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の期間についてお答えいただくものです。今年度（2020年度）の実施状況ではありませんのでご注意ください。

※ **実績**の情報を収集するため、調査対象となる年度の翌年度に調査を実施しています。

※ 4. および調査票Bへの記入不要の場合は回答終了です。このまま提出をお願いします（⇒P10参照）。

## Ⅱ. 調査票Aに記入する

### 4. 令和元年度（2019年4月～2020年3月）に実施した奨学金制度を記入してください。

No.	1. 制度の名称 【必須】	2. 制度の種類	3. 進学前の予約制度の有無	4. 受給者	5. 別表1の学生・生徒をいずれかの対象としている課程の	6. 機構奨学金との重複利用	7. 留学生の利用	8. 選考基準	
								最優先のものを選択	特記事項 (学力・家計以外の基準を優先する場合に記入してください。)
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
1	奨学資金	給付	なし	学生本人	対象	貸与・給付ともに併用可	不可	学力・人物を重視	
2	地域奨学金	貸与	有り	学生本人	対象外		規程なし	家計状況を重視	

※ 複数の制度がある場合は、制度ごとに行を分けて記入してください。  
 ※ 黒く反転した部分は回答不要です。

#### ⑤表1の学生・生徒のいずれかが支給の対象となっていますか

- 1 (支給) 対象
- 2 (支給) 対象外

【表1】

支給対象(専攻科を含む)
大学生
大学院生
短期大学生
高等専門学校生
専修学校専門課程の生徒

#### ⑥日本学生支援機構の奨学金との重複利用について、あてはまるものを選んでください

- 1 貸与・給付ともに併用可
- 2 機構貸与奨学金との併用不可（給付は可）
- 3 機構給付奨学金との併用不可（貸与は可）
- 4 貸与・給付ともに併用不可

#### ①奨学金制度の正式名称を記入してください【必須】

#### ②奨学金の種類を選んでください

- 1 給付 →返還の必要のない奨学金
- 2 貸与 →返還する必要がある奨学金
- 3 併用 →1人の奨学生について、支給額の一部を給付し、一部を貸与する奨学金
- 4 利子補給 →教育ローンの返済利子相当額を支給する奨学金

#### ③進学前の予約制度の有無を選んでください

- 1 (進学前の予約制度) 有り
- 2 (進学前の予約制度) なし

#### ④奨学金の受給者についてあてはまるものを選んでください

- 1 学生本人 →学生(生徒)が受給者になる
- 2 学生以外 →学生(生徒)は受給者にならない  
 ※例：保護者のみを対象とする制度

#### ⑦外国人留学生の受給についてあてはまるものを選んでください

- 1 (受給) 可 →外国人留学生を含め対象とする
- 2 (受給) 不可 →外国人留学生を対象としない
- 3 規程なし →外国人留学生に関する定めがない

#### ⑧最もあてはまるものを選んでください

- 1 学力・人物を重視
- 2 家計状況を重視
- 3 どちらも同程度に重視
- 4 学力・家計以外の基準を重視  
 ⇒4の場合は、特記事項に内容を記入してください。

## Ⅱ. 調査票Aに記入する

(記入例) ※⑨～⑫は制度の種別が「貸与」または「併用」の場合に記入してください。

9 返還免除制度の有無	⑨ 免除の要件 該当に○をつけてください				10. 返還期限猶予制度の有無	⑩ 猶予の要件 該当に○をつけてください				11. 減額返還制度の有無	⑪ 減額返還の要件 該当に○をつけてください				12. 返還率 (回収率)  ⑫	
	職業の指定	勤務先の指定	経済状況	その他		職業の指定	勤務先の指定	経済状況	その他		職業の指定	勤務先の指定	経済状況	その他		
有り		○			有り		○	年収300万円以下	○	死亡・病気療養中	なし					78.5 %

- ⑨返還の一部または全部を免除する返還免除制度の有無を選んでください
- ⑩返還期限を先延ばしにして返還を猶予する返還期限猶予制度の有無を選んでください
- ⑪1回あたりの返還金額を減らして返還する（返還金額の総額は変わらない）減額返還制度の有無を選んでください

1 有り  
2 なし

- ⑫令和元年度1年間の返還率を記入してください  
令和元年度（2019年4月～2020年3月までの）1年間の奨学金の返還率（回収率：金額）を%で記入してください。

免除、猶予、減額について、「有り」の場合は、それぞれ適用要件として指定されているものに○をつけてください

要件	具体例
職業の指定	IT産業に就職した者 など
勤務先の指定	〇〇会社に勤務している者 など
経済状況	一定額以下の収入など経済状況による場合 右欄「収入の基準額等の内容（概要）」その内容を記入してください
その他	死亡・病気等、上記以外の要件がある場合は、右欄「その他の内容」に記入してください

## Ⅱ. 調査票Aに記入する

(記入例) ⑬⑭令和元年度(2019年度)に実施した奨学金制度の実績を、対象者の学校の種類ごとにそれぞれ記入してください。

No.	1. 制度の名称 【必須】	13. 令和元年度の支給人数の実績 ⑬ (1年間の合計人数・単位：人)				14. 令和元年度の支給金額の実績 ⑭ (1年間の合計金額・単位：千円)			
		大学 学部	短期大学	高等専門 学校	高等学校	大学 学部	短期大学	高等専門学 校	高等学校
1	奨学資金	45 人	20 人	0 人		16,200 千円	7,200 千円	0 千円	
2	地域奨学金	20 人	15 人	0 人	20 人	2,400 千円	1,800 千円	0 千円	2,400 千円

### 合計人数・総額の考え方

- ・年度の途中で採用もしくは支給中止した場合も人数・金額に含めてください。
- ・月額支給で、1人に12ヶ月支給をした場合は、人数は1人、金額は月額×12ヶ月の合計金額となります。また3ヶ月間だけ支給をした場合は、人数は1人、金額は月額×3ヶ月の合計金額となります。

#### 支給人数・・・

令和元年度(2019年4月～2020年3月)1年間の合計人数(支給実績)を課程別に記入してください。

令和元年度に新たに採用・対象とした人数

+

前年度以前から継続して対象となっている人数

(前年度以前に支給が終了している人数は含みません。)

#### 支給金額・・・

令和元年度(2019年4月～2020年3月)1年間の総額(支給実績)を課程別に記入してください。

令和元年度内の**全対象者**への

令和元年度内の**支給の総額**を

**千円単位**(百円の位を四捨五入)で記入してください。

#### 該当者がいない場合は

支給対象としていない区分は空欄、支給対象としているが令和元年度は実績がなかった区分は0を記入してください。

### Ⅲ. 調査票Bに記入する

#### 調査票B

令和元年度（2019年度）に、各種団体等から貸与を受けた奨学金の返還をしている方を対象に返還金の一部又は全部を支援する制度を実施した場合は、調査票Bを作成して提出してください。

No.	(記入例)	支援の方法	「その他」の内容 (自由記述)	対象となる奨学金	支援の対象
	制度の名称 【必須】				
	①	②		③	④
1	返還支援制度	奨学団体に送金		日本学生支援機構の奨学金のみ対象	元金のみ
2	奨学金返還支援	対象者に資金交付		どちらも対象	元金・利 息両方

#### <回答内容>

- ・ **奨学金の返還支援制度**の令和元年度実績  
(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

※ 貴団体が貸与した奨学金の返還免除は除外してください。

#### ③支援の対象となる奨学金を選んでください

- 日本学生支援機構の奨学金のみ対象  
→日本学生支援機構の奨学金を返還したときのみ支援する場合
- 日本学生支援機構以外の奨学金のみ対象  
→日本学生支援機構以外の団体等が実施する奨学金を返還したときのみ支援する場合
- どちらも対象  
→どちらも対象または特に指定のない場合

#### ④支援の対象を選んでください

- 元金のみ  
→奨学金の元本部分のみを支援の対象とする場合
- 利息のみ  
→奨学金の利息部分のみを支援の対象とする場合
- 元金・利息両方  
→元金と利息の区別なく、あるいは両方を支援の対象とする場合

#### ①制度の正式名称を記入してください【必須】

#### ②支援の方法を選んでください

- 対象者に資金交付  
→対象者に現金を支給する場合
- 奨学団体に送金  
→対象者に代わって、貴団体が奨学団体等に送金する場合
- その他  
→上記以外  
「その他」の内容欄に概要を記入してください



### Ⅲ. 調査票Bに記入する

(記入例)

対象要件・・・  
返還支援の対象となる奨学金の条件

⑥令和元年度1年間（2019年4月1日～2020年3月31日）の実績を記入してください

No.	制度の名称 【必須】	⑤ 対象要件 限定のあるものに○をつけてください							⑥ 令和元年度の実績（1年間の合計）			
		学校種別の指定	学校の指定	学部、専攻分野等の指定	職業の指定	勤務先の指定	勤務先所在地の指定	就業期間の指定	居住地・出身地の指定	その他	「その他」の内容 (自由記述)	支援件数の合計 (単位：人)
1	返還支援制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			55	6,600
2	奨学金返還支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			10	1,800

支援件数・・・  
令和元年度1年間の合計件数（実績）を記入してください。  
（前年度以前の支援件数は含みません。）

支援金額・・・  
令和元年度1年間の合計金額（実績）を記入してください。

- ・令和元年度内の**全件**に対する
- ・令和元年度内の**総額**を
- ・**千円を単位として**記入してください。

⑤下記の表3を参考に、支援の対象となる条件として指定されているものに○をつけてください

【表3】

対象要件	具体例
学校種別の指定	大学・高等専門学校で奨学金を借りて卒業した者 など
学校の指定	〇〇大学で奨学金を借りて卒業した者 など
学部・専攻分野等の指定	理工系学部で奨学金を借りて卒業した者 など
職業の指定	IT産業に就職した者 など
勤務先の指定	〇〇会社に勤務している者 など
勤務先所在地の指定	県内の製造業に勤務している者 など
就業期間の指定	2年以上の勤務をしている者 など
居住地・出身地の指定	〇〇県出身者、〇〇市内在住の者 など
その他	上記以外の指定がある場合は、右欄「その他の内容」に記入して下さい

該当者がいない場合は  
制度はあるが、令和元年度に実績のない場合は0を記入してください。

## IV. 調査票を提出する

- ① 調査票のファイル名を  
「団体ID（5桁）\_団体名.xls」に変更してください。
- ② 下記要領で記入済みの調査票をEメールに添付して送信してください。

件名：奨学事業に関する実態調査の提出\_団体ID\_団体名  
送信先Eメールアドレス：d-shougaku 【@】 sg-expert. co. jp

※メールを送る際は@の前後の【】を取ってご利用ください。

※調査票にはパスワードをかけないでください。またファイル送信システムでの提出は調査票を取り込めないため、利用しないでください。

※調査票の受付業務を「SGシステム株式会社」に委託しております。

ご提出いただいた内容について、「SGシステム株式会社」より照会させていただくことがありますので、ご協力をお願いします。

※上記のメールアドレスは、調査票提出専用です。調査に関する照会等は、下記の照会先までお願いします。

- ③ 受付確認メールが届きますので、ご確認をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

### 【本件照会先】

独立行政法人日本学生支援機構  
奨学事業戦略部奨学事業戦略課調査係  
〒162-8412 東京都新宿区市谷本村町10-7  
電話：03-6743-6009 FAX：03-6743-6679  
(平日9：00～17：30)